

- 令和3年3月25日、第5回庄内川流域治水協議会を開催し、庄内川水系流域治水プロジェクトをとりまとめた。
- 本プロジェクトは、枇杷島地区における3橋架替等の対策に加え、水害リスクの低い地域への居住誘導の推進、公園等を活用した高台の整備、地下空間・地区タイムラインの作成・周知等をあらゆる関係者で行っていくことを確認した。
- 10市町の首長より、本プロジェクトに対する各市町の流域治水対策について説明した。
- これまで本協議会をリーディング地区として牽引してきた多治見市長、名古屋市長より構成員の代表として、流域治水を進める力強い発言があった。

日 時: 令和3年3月25日(木) 14:00～15:00

場 所: ホテルメルパルク名古屋

構成員

・18市5町

(多治見市長、恵那市長、土岐市長、名古屋市長、大山市長、稲沢市長、岩倉市長、清須市長、扶桑町長、大治町長、他流域市町首長)

・岐阜県 県土整備部・都市建築部・林政部、愛知県 建設局・農林基盤局

・東海農政局、中部森林管理局、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所

オブザーバー(9機関)

中部地方整備局 建政部・河川部、気象庁名古屋地方気象台、地方共同法人 日本下水道事業団事業統括本部、中部電力(株) 事業創造本部、中日本高速道路(株)名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター、名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県農政部、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター中部整備局

出席者: 41機関



※写真撮影時のみマスクを外しています。

代表自治体

多治見市長



上流部・中流部・下流部しっかり連携して取り組んでいきたい。

名古屋市長



土岐川・庄内川を守ることは日本を守ることである。総合力で対策していかなければいけない。

中部地方整備局長



各市町より直接ご説明いただいたプロジェクトについて、しっかり進めていかなければいけない。名古屋都市圏が止まると日本・世界が止まることを踏まえ、中部地方整備局としては、課題を共有し、皆様と解決していきたい。さらに、課題解決のための仕組み等も徐々に整えているところである。本プロジェクトにご協力いただき感謝申し上げます。事務所に筆頭に今後更に頑張っていきたい。

各市町が流域治水対策を説明



古川雅典 多治見市長



小坂喬峰 恵那市長



加藤淳司 土岐市長



河村たかし 名古屋市長



山田拓郎 犬山市長



加藤錠司郎 稲沢市長



久保田桂朗 岩倉市長



永田純夫 清須市長



鯖瀬武 扶桑町長



村上昌生 大治町長



協議会の様子

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、座席間にはアクリル板を設置。マスク着用、消毒、検温等を徹底。